

沖縄県立病院のDPCデータを用いた 小児診療時間外受診の分析

第111回沖縄小児科学会
令和6年12月15日
沖縄県病院事業局
中矢代真美

背景

沖縄県は小児科医師少数県であるが、小児救急医療の需要について最新の包括的なデータが乏しい。

目的：

県立病院の小児の診療時間外受診データを用いて沖縄県の小児救急医療需要の一端を明らかにし、小児医療体制を議論する一助とする。

方法

沖縄県病院事業局におけるDPC分析システム
(厚生労働省に提出するDPCデータ)にて

-令和5年4月1日～令和6年10月31日の期間中

-時間外・休日・深夜加算のいずれかを含む初診・再診算定
(以下、「診療時間外」と略す)された

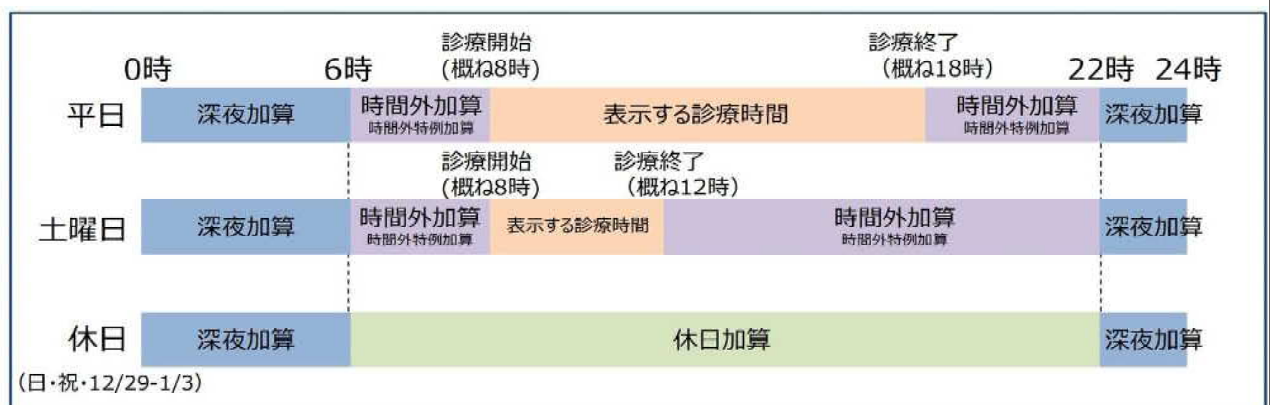
-小児(年齢14歳以下と定義) 44898件を中心に後方視的に分析した。

参考：「診療時間外」の加算定義

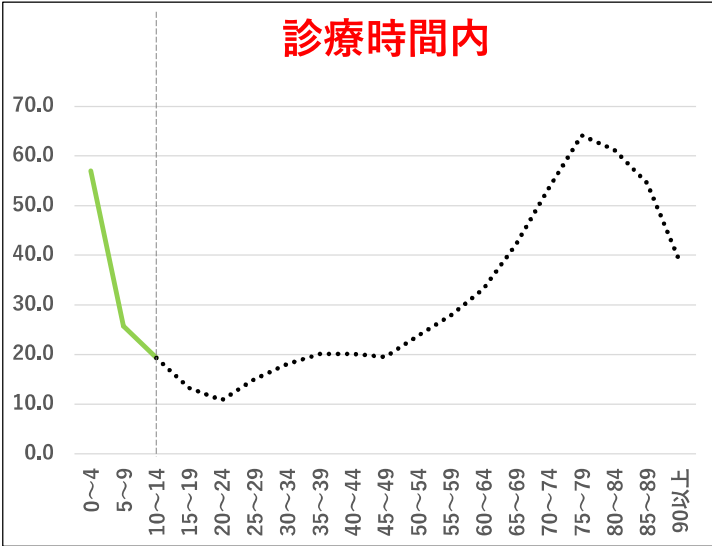
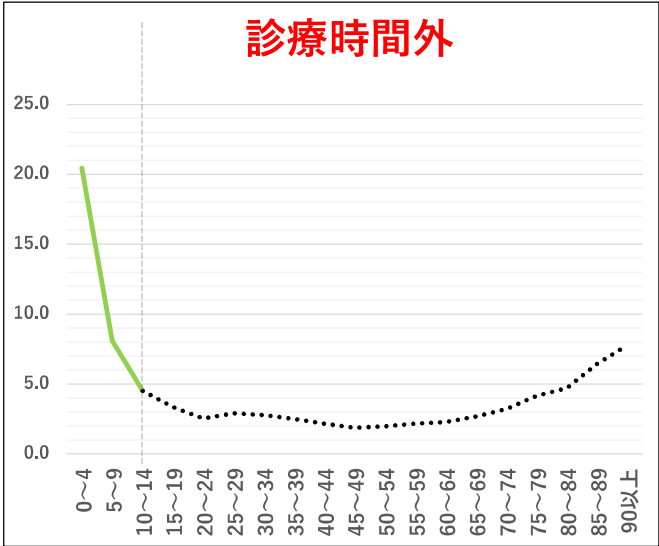
時間外加算：各病院が標榜する診療時間以外の時間
(深夜加算と休日加算の対象時間は除く)

深夜加算：22時から翌朝6時

休日加算：日曜日,および国民の祝日と年末年始(12月29日～1月3日)

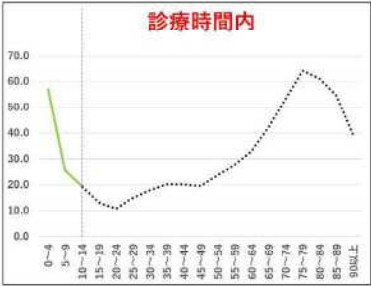
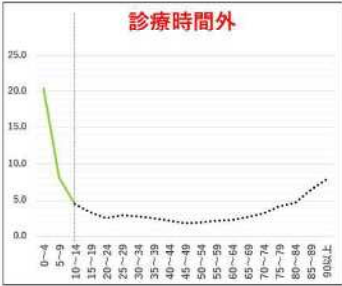


年齢層別 沖縄県立病院 診療時間外と診療時間内比較 月平均算定件数/人口（千人）



沖縄県立病院と全国データ比較

沖縄県立病院 年齢層別受診 令和5-6年

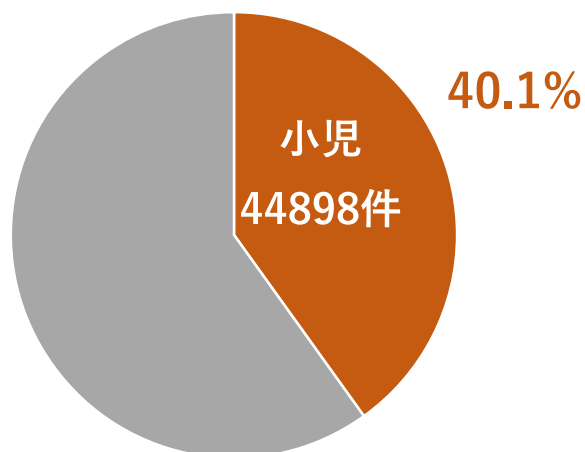


全国 年齢層別受診 平成28年度

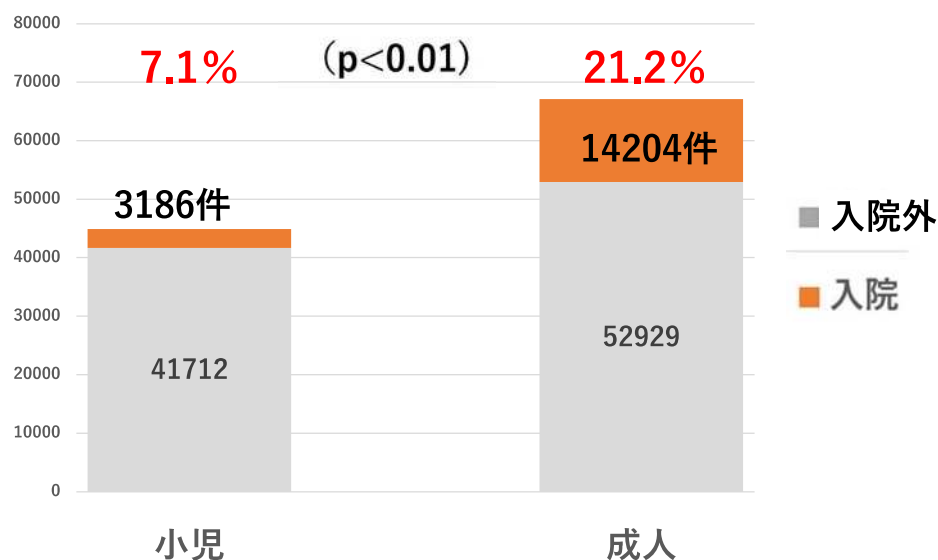


県立病院の診療時間外 全年齢受診件数 に占める小児割合

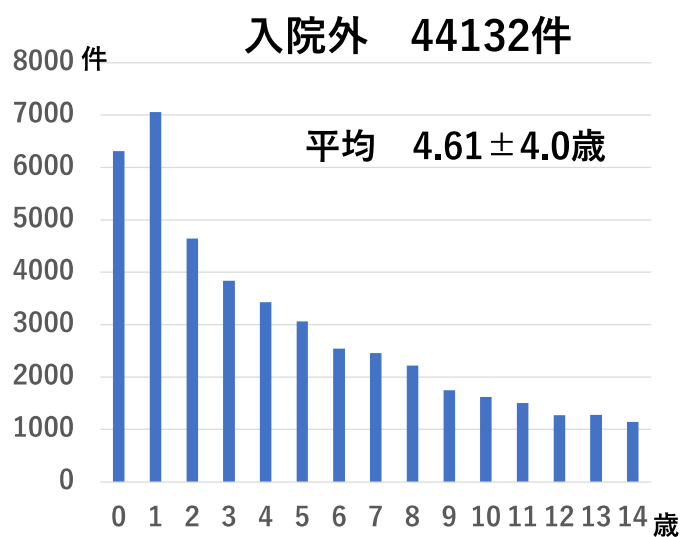
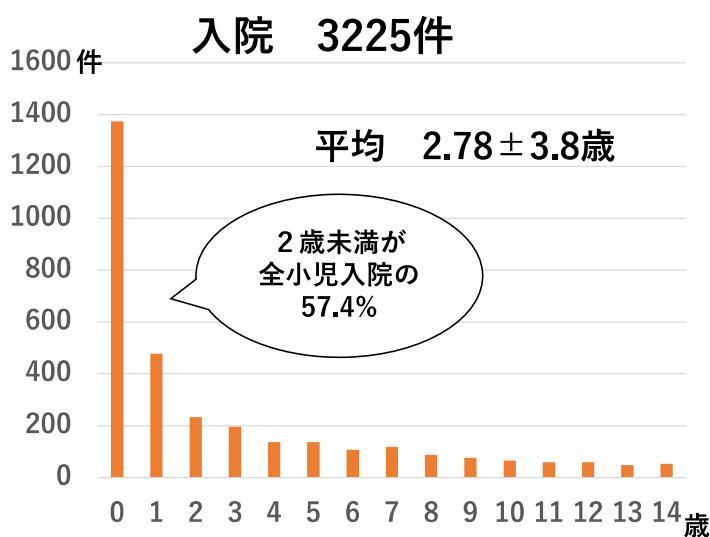
総数112031件



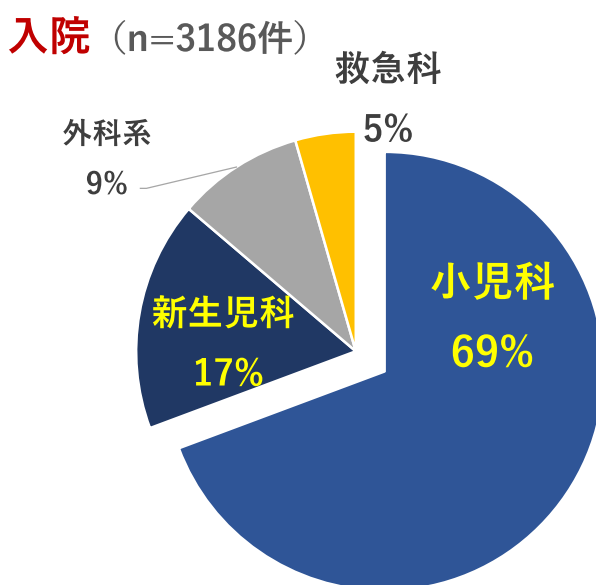
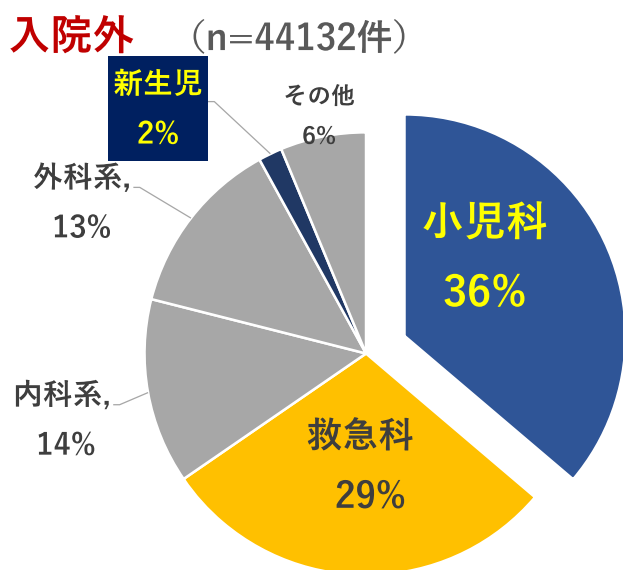
県立病院の診療時間外 入院率比較 (成人と小児)



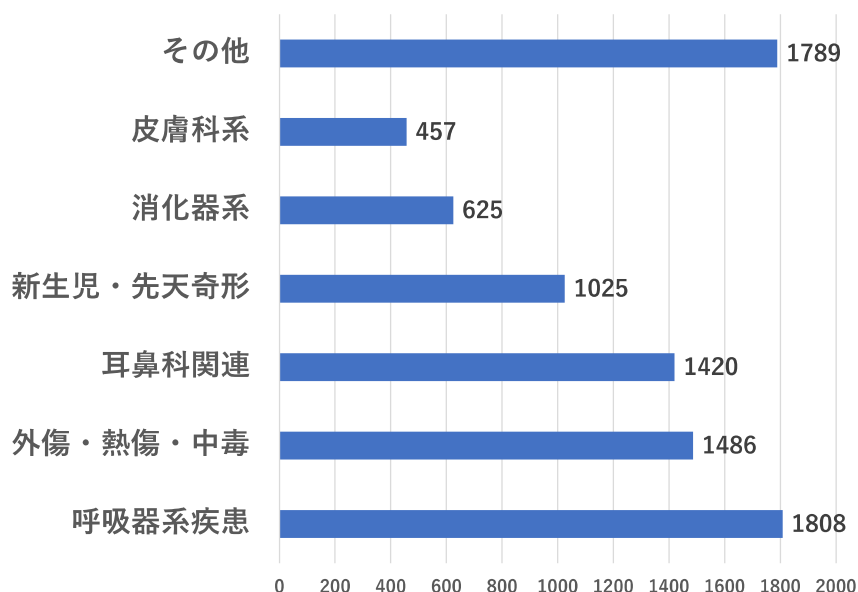
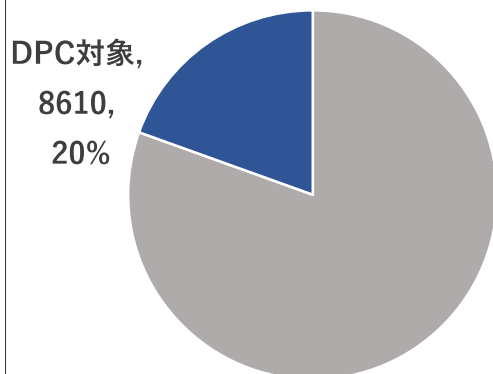
小児 診療時間外 年齢分布 入院・入院外比較



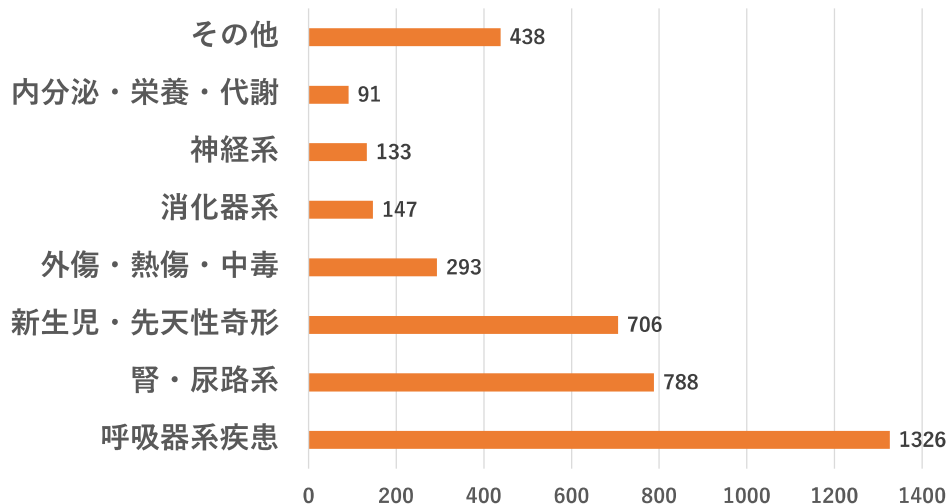
小児 診療時間外受診 診療科内訳



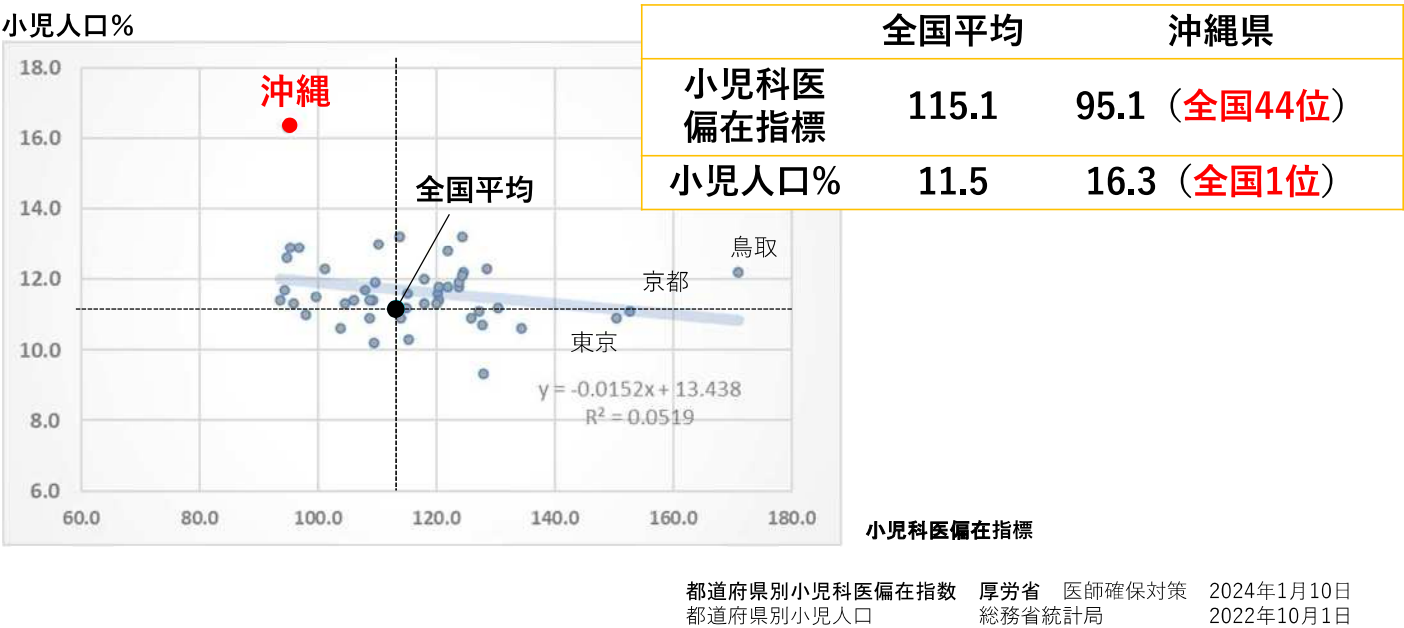
診断分類：MDC(Major Diagnostic Category) 入院外



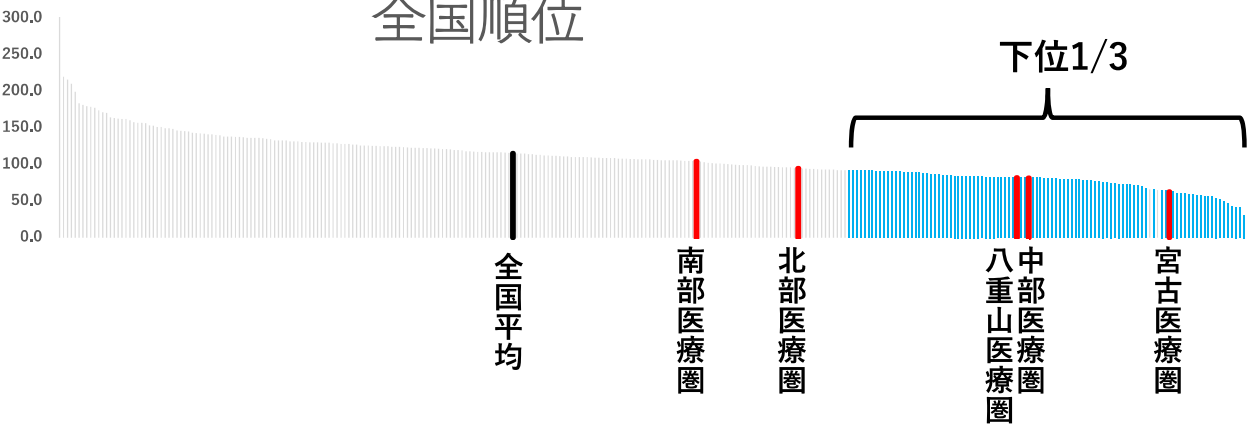
診断分類：MDC(Major Diagnostic Category) 入院



考察：令和5年度都道府県別 小児人口割合と比較した小児科医偏在指標



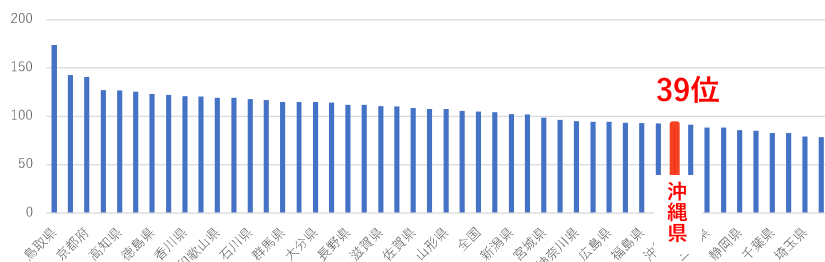
R5小児医療圏別 小児科医師偏在指標 全国順位



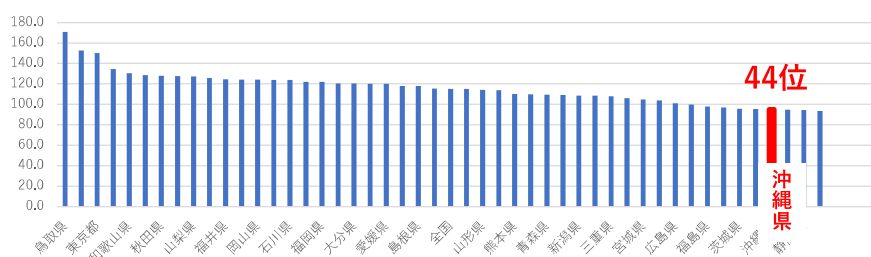
医療圏	北部	中部	南部	宮古	八重山	全国平均
小児科医偏在指標	94.4 (191位)	81.8 (249位)	103.9 (165位)	62.7 (285位)	82.2 (246位)	115.1 304医療圏
小児割合 (%)	15.6	16.9	16.3	14.9	16.6	11.5

小児科医師偏在指標の経時的変化

令和元年

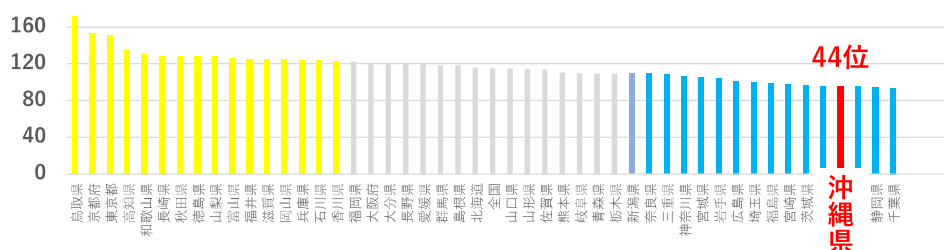


令和 5 年

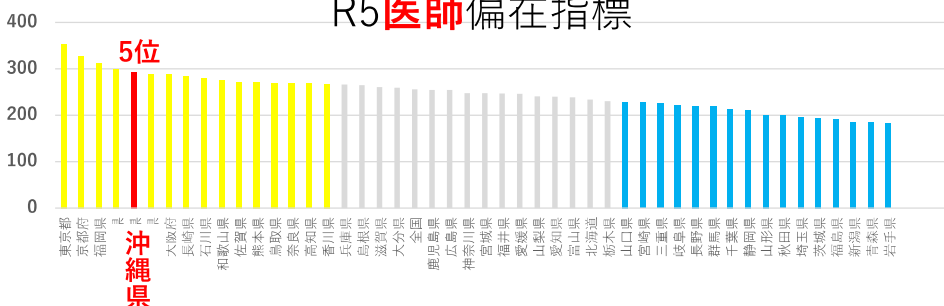


小児科医と医師 偏在指標比較

R5小児科医師偏在指標



R5医師偏在指標



まとめ

- ・ 沖縄県立病院へ診療時間外受診する小児は成人に比べて割合が高く、入院率が低い。
- ・ 入院は入院外に比べて平均年齢が低く、 8 割以上小児科医が診療している。
- ・ 沖縄県は小児の人口に占める割合は全国1位だが、偏在指標は44位であり令和元年に比べて減少している。
- ・ 小児救急医療を維持させるためには需要と供給の均衡を取り戻すための包括的な計画が必要である。